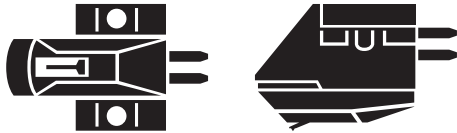


取扱説明書



MC型(デュアルムービングコイル)ステレオカートリッジ AT-F2 MC



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくご使用ください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。
- 幼児の手の届く所に置かない
事故や故障の原因になります。

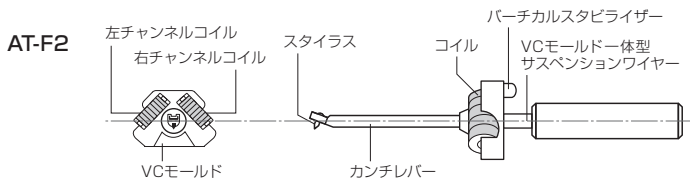
注意 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障や不具合の原因になります。
- 分解や改造はしない
故障の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
故障の原因になります。
- 振動系は指で触れない
故障の原因になります。

特長

●AT-F2の基本構造

スタイラスチップには先端曲率半径0.3×0.7milの精円針を採用。
このスタイラスチップをアルミパイプカンチレバーに埋め込み接着しています。そのほかにもパーチカルスタビライザー機構を採用するなど、オーディオテクニカが培ってきたアナログ技術のノウハウを結集させることにより、MCカートリッジならではの情報量豊かな音を再生します。



●磁気エネルギーを飛躍的に高めたネオジウムマグネット

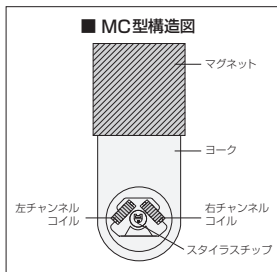
マグネットには、最大エネルギー積、BHmax:50[kJ/m³]のネオジウムマグネットを採用し、ヨークには優れた磁性材料の純鉄を採用して、コイルギャップ部の集中磁界をさらに強化しました。

●コイルにPCOCCを採用

PCOCCは伝送方向に結晶粒界が生じないため、ピュアな伝送をお楽しみいただけます。

●高セパレーション、ワイドレスポンスのデュアルムービングコイル

基本構造は、逆V字状のコイルを左右2本とし針先から見た振動質量を極限まで減らしたデュアルムービングコイルシステム。
左右チャンネルのそれぞれに円筒状コイルを配したAT独自のMC型です。
L、Rが完全に独立して発電されるため、ステレオの広がりや音質に悪影響を与えるクロストークを抑え、非常に優れたセパレーション特性を備えクリアできめ細かい音を再生します。



●剛体化設計に徹した強靱なボディ

精密で堅牢なアルミ合金をベースに硬質樹脂で共振を抑えこんだ構造です。これにより高剛性化とSN比の向上を図っています。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

精密で堅牢なアルミ合金をベースに硬質樹脂で共振を抑えこんだ構造です。これにより高剛性化とSN比の向上を図っています。

- お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417 (携帯電話PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
- サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416 (携帯電話PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
- ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

使いかた

*針部分は大変デリケートです。取り扱いには充分ご注意ください。

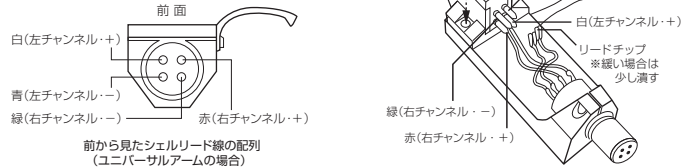
①ヘッドシェルに取り付けます。

振動系を痛めないよう、ビスは仮締めしておきます。

②出力端子の極性に注意してリードチップを接続します。

ユニバーサルアームのシェルリード線は、下図のように配列されています。カートリッジの出力端子へ、同じ色のリード線を接続します。リードチップが緩いときは、少し潰してから行ってください。

*出力端子にはハンダなどの熱を絶対に加えないでください。

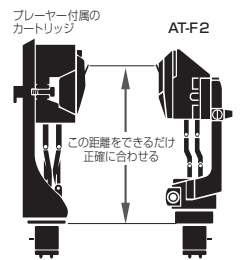


③カートリッジの取り付け位置を正確に決めます。(オーバーハングの調整)

アームまたはプレーヤーシステムの説明書に従って、オーバーハングの調整をします。不明な場合は、お手持ちのプレーヤーに最初から付いていたカートリッジの針先位置に合わせてください。(右図)

*誤差が大きいと音質が劣化しますので、できるだけ±1mm以内に揃えてください。

*調整後、ビスを左右均等になるように本締めします。



④針圧を調整します。

本製品の適正針圧は1.8~2.2gで、標準値は2.0gです。使用条件やお好みによって、適正値の範囲内で針圧を調整してご使用ください。

⑤アームの高さを調整します。

ヘッドシェルの底面とレコード面が横から見て平行になるように、高さを調整してください。アームの高さが適切でないと、カートリッジのボディがレコードに当たり、音質が劣化することがあります。
*接続する機器によっては、アームの高さを調整できない機器もあります。

⑥アンプとの接続にはトランスかヘッドアンプ、または単体フォノコライザーが必要です。

本製品の音質を活かすため、アンプにフォノ(PHONO)入力(MCポジション)がある場合はそのまま使用することもできますが、昇圧トランス(別売)かヘッドアンプ、またはフォノコライザー(別売)の使用をおすすめします。接続については、接続する機器の取扱説明書もご確認ください。

⑦針先をいつもきれいにしておいてください。

針先にごみや汚れが付着した場合は、市販のブラシできれいにしてください。汚れがひどい場合は、別売りのスタイラスクリーナーをおすすめします。

根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。カートリッジをアームから外したときは忘れずにプロテクターを取り付け、アンプなどの熱源から離して保管してください。

針先クリーニングのしかた
ブラシは必ずレコードの進行方向に動かしてください。

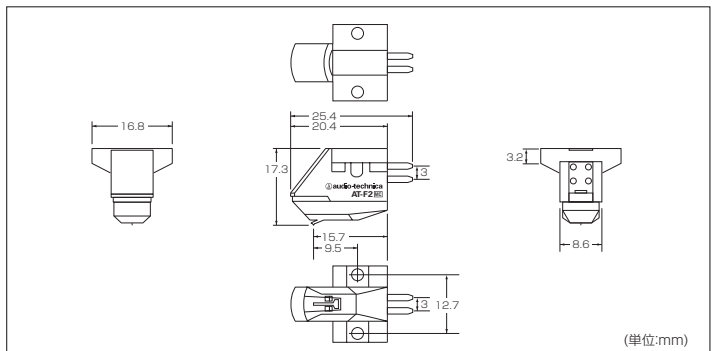


⑧針交換はカートリッジ全体をお取り換えします。

ご使用済みのカートリッジを販売店へお持ちください。
本製品または当社販売中のMCカートリッジの中から、ご希望の製品を針交換価格でご提供させていただきます。なお、本製品の生産終了後については、販売中のMCカートリッジの中からそれぞれの製品の針交換価格にご提供させていただきます。あらかじめ、ご了承ください。

テクニカルデータ

型式	: MC型	スタチックコンプライアンス	: 35×10 ⁻⁶ cm/dyne
再生周波数範囲	: 15~30,000Hz	ダイナミックコンプライアンス	: 9×10 ⁻⁶ cm/dyne (100Hz)
出力電圧	: 0.32mV (1kHz, 5cm/sec.)	針先形状	: 精円 0.3×0.7mil
チャンネルセパレーション	: 25dB (1kHz)	垂直トラッキング角	: 23°
出力バラン	: 1.5dB (1kHz)	外形寸法	: H17.3×W16.8×L25.4mm
針圧	: 1.8~2.2g (2.0g標準)	質量	: 5.0g
コイルインピーダンス	: 12Ω (1kHz)	●付属品: ワッシャー×2, プロテクター×1	
直流抵抗	: 12Ω	カートリッジ取り付け穴	5mm×2, 9mm×2,
負荷抵抗	: 100Ω以上(ヘッドアンプ接続時)	ナット	×2
コイルインダクタンス	: 25μH (1kHz)		(改良のため予告なく変更することがあります。)



株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

http://www.audio-technica.co.jp

112300670B